

新しい年を迎え、様々な活動に新たな気持ちで取り組める1月。夢や目標をもって1年間のスタートを切れるようにしたいものです。また、冬休みの不規則な生活習慣を引きずらないように、生活や授業、当番活動のルール等を再確認し、生活のリズムを整えることが大切です。学級としての残り3カ月間が充実したものになるように、子どもと共に学級づくりのまとめを進めましょう。



<小学校>

学級づくりをキャリア教育の視点からみると

「将来の夢、魅力はココ！」

将来の夢（就きたい職業）や、その魅力を明らかにする活動を取り入れることで、夢の実現に向けて見通しをもたせ、日々の生活や学習を充実させましょう。



1 将来の夢を見つける

- (1) A4判用紙の中心に「夢」と書き、連想される言葉を書き出す中から、将来の夢の一つを選ぶ。
- (2) 将来の夢にかかわる写真を探したり、絵に描いたりして、その職業の魅力をもとめる。

2 友だちと互いの夢を紹介し合う

写真や絵を見せながら互いの夢を紹介し、その仕事の魅力を伝え合う。

様々な魅力ある職業を知ったり、友との視点の相違に気付いたりすることが、キャリアプランニング能力の育成につながります。さらに、紹介し合った職業に就いている方を招いて、お話を聞くことで、将来の夢がより身近になるでしょう。

“やりがい”のもてる当番活動に

毎日繰り返される当番活動。時には停滞することもあると思います。

なぜ停滞するのかを探りましょう

- | | | |
|---------------|-----------------|--------------|
| なぜこの活動をするのかな。 | 活動の内容がよく分からないな。 | この活動はつまらないな。 |
|---------------|-----------------|--------------|

子どもと共に活動を振り返りましょう

- | | | |
|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> 活動の価値を確認しましょう。
● 黒板がきれいになっていっていると、気持ちよく授業ができるね。 | <input type="checkbox"/> 活動内容の確認をしましょう。
● みんなで手順や分担、時間の計画を立てておけばできそうだよ。 | <input type="checkbox"/> 互いの活動を評価し合いましょ。しょう。
● Aさんがとても丁寧に机の整頓をしてくれてすごい！ |
|---|--|--|

“やりがい”を実感できるようにしましょう

<中学校>

学級づくりをキャリア教育の視点からみると

「夢新聞」を作ろう

新しい年を迎え、生徒は夢や希望を新たにして登校してきます。夢や希望は口に出したり人に伝えたりすることで、現実味を帯び、実現に向けた努力が進むものです。そこで、次のような活動をしてみてはどうでしょうか。



<夢新聞を作る>

- 1 生活班などのグループごとに集まり、自分の夢や目標、新年の決意を班内で発表する。
- 2 発表した内容を班ごとに画用紙1枚で新聞にする。
- 3 新聞を掲示し、互いの夢や目標を共有する。
- 4 新聞の内容を発表する機会を設けてもよい。班ごとの新聞の作成、新聞の内容の発表には、朝または放課後の短学活を利用してよい。

互いの夢や目標を認め合い、支え合う学級づくりにより、生徒のキャリア発達を促しましょう。

教師の気付きから始まる日常の連携支援

生徒は、自分の心の不調を自覚しにくかったり、自ら助けを求めにくかったりします。

気付き
↓
見立て
↓
連携
↓
支援

1年のA子は、短学活時、暗い表情で外を眺めていた。担任は「様子がおかしい」と感じた。

学活終了後、A子は「気持ち悪いから保健室に行きたい」と担任に伝えてきた。担任は、養護教諭に「様子が心配だから、話を聴いて早めに教えてほしい」と連絡をした。その後、A子は養護教諭に部活動の悩みを語った。

担任と養護教諭は、A子の悩みについて情報共有し、一緒に解決策を考えた。そして、校内支援体制を整えた。

担任の気付き、養護教諭への一言が、具体的な支援につながった事例です。